

「新聞の父」研究

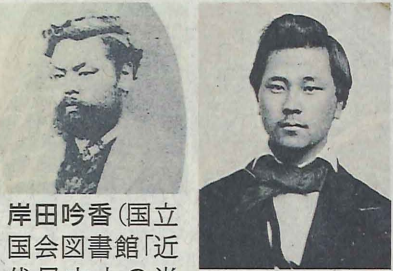
播磨町で交流

日本初の民間邦字新聞を発行し、「新聞の父」として知られる播磨町出身のジョセフ・ヒコ（浜田彦蔵、1803〜97年）や、発行に携わった岡山県出身の岸田吟香（33〜1905年）を顕彰する団体などが18日、兵庫県立考古博物館（同町大中1）で初めて交流した。互いの活動を紹介し、今後の連携継続も確認した。

ヒコは1850年、遠州灘沖で遭難し、船で漂流中に米国船に救助されて渡米。59年に帰国した。吟香は画家・岸田劉生の父。横浜で、医師であり宣教師のヘボンを通じてヒコと知り合った。ヒコが海外の新聞を翻訳し、吟香らがひらがなを多用して書いた新聞「新聞誌」は64年に発行された。

交流したのは、ジョセフ彦記念会（埼玉県所沢市）▽新聞愛好家をつくる「新聞資料研究会」（東京）▽岸田吟香を語り継ぐ会（岡山県美咲町）の3団体。

初の民間邦字紙発行 ジョセフ・ヒコ 岸田吟香



岸田吟香（国立近世図書「岸田吟香の肖像」より引用）

ジョセフ・ヒコ

顕彰など3団体 今後の連携確認



ジョセフ・ヒコに関する資料を眺める（左から）堀千枝子会長、加原奎吾会長、羽島知之会長＝県立考古博物館

播磨町は町制60周年を記念し、同館で「ジョセフ・ヒコ講演会」（19日）と「新聞資料研究会第30回播磨大会」（18日）を企画。この日の同播磨大会には、各団体の計約40人が集った。あいさつで、同語

り継ぐ会の加原奎吾会長（85）は「新聞があるから世界や身近なことが分かる。新聞がなくは困る」と述べた。

その後、各会員所有の資料を見せて活動を報告し合った。同記念会の堀千枝子会長（63）は「ヒコと吟香のような関係を、語り継ぐ会とも築きたい」。同研究会の羽島知之会長（87）は「吟香がいなければ、ヒコの新聞はなかった。短い時間だが顔が合わせられてよかった」。加原会長は「ヒコ生誕の町に初めて来られて感激している」とした。

19日の講演会は、羽島会長ら計3人がヒコに関する研究成果を披露する。先着30人。午前10時〜正午。同町郷土資料館 ☎079・435・5000

加古川市・省エネ家電買い替え補助 来月14日から受け付け

加古川市は18日、省エネ家電買い替え促進事業の詳細を発表した。省エネ基準達成率100%以上のエアコン、冷蔵庫を市内の店で買い、住宅に設置した市民に、購入価格の20%、最大6万円（ウエルピポイントは25%、最大7万円分）を支給する。12月14日〜来年2月13日に購入した上で、同月28日までに取り付けた品が対象となる。

企業、団体は対象外で、個人が購入した場合も、店舗や事業所に設置する場合のみ（斉藤正志）

受け付けは予算額9450万円に達した時点で終了する。事務局 ☎050・3503・7587（平日のみ）

お墓の山石

申請書は、市内の家電販売店からホームページから入手できる。新たな家電の領収書や保証書、古い家電を撤去した際に発行されるリサイクル券などのコピーと共に、2月28日までに委託先の事務局まで送る。

避難所の備えなど確認



町職員（左から3人目）から災害用仮設トイレの組み立て方を教わる児童たち＝播磨南小学校

播磨南小で防災学習

播磨町古宮5の播磨南小学校で、地震への理解を深めた。



「秋を彩る生け花69点」第59回高砂市いけばな展（神戸新聞社後援）が19、20日、市文化保健センター（同市高砂町朝日町1）で開かれる。紫色のリンドウや赤い実のナンテンなど、秋の草木69点が並ぶ写真。市茶華道協会が主催し、市内17流派の約70人が出品。会場には、白い花を付けるヒカンザクラや菊の花、実が赤いイイギリなどを組み合わせた作品がずらり。位田好男（いんでん・よしお）会長（76）同市伊保港町11は「季節の花がたくさんあるので、見て癒やされては」と話す。

入場無料。午前10時〜午後5時20日は午後4時まで。例年用意している茶席は、新型コロナウイルス禍のため設けられない。同協会 ☎0990・5241・7036（菅原次郎）

加古川駅前 相談無料

よくわかる 保険プラス

☎0120-88-6530

よくわかる保険プラス加古川 検索

わが家の **アイドル**

加古玲依那ちゃん (3歳) 高砂市米田町米田

今日は七五三かわ いい玲依那大好き♡

当直医

20日【外科系】岡本クリニック（播磨町北本庄5 ☎079・437・2271）、高砂西部病院（高砂市中筋1 ☎079・447・0100）

【内科・小児科】東はりま夜間休日応急診療センター（加古川市東神吉町西井ノ口 ☎079・431・8051、受け付けは8時40分〜17時40分）

【眼科・耳鼻咽喉科】姫路市休日夜間急病センター（姫路市西今宿3 ☎079・298・0119、受け付けは8時半〜17時半）

☆いずれも診療時間は9〜18時。夜間の内科（21〜6時）、小児科（11〜14時）は平日の

加古川駅にコストリートピアノ 誰でも自由に奏でて

市内で初の常設

加古川市では市役所新館1階と加古川総合文化センターで、月1、2回、「まちかどピアノ」として実施している。

式典では、同市のキャラクター「ウエルピー」と大

で使われていたヤマハ製のアップライトピアノを設置した。